

第27回尼崎市動物愛護管理推進協議会議事要旨

1 日 時

令和元年12月18日(水) 14時～15時30分

2 場 所

尼崎市保健所集団指導室

3 出席者

(1) 委 員 8 名 (敬称略)

植村興、三田一三、古田一夫、會田道彦、田上美穂子、西尾美香、早瀬光希、
新家謙和

(2) 事務局 3 名

西村生活衛生課長、林所長、野村技師

4 議事概要

(1) 令和2年度動物愛護基金活用予算について

(2) 来年度協議会のスケジュールについて

(3) 多頭飼育の対応について

(4) 施設改修について

(5) 寄付金関係について

<意見等>

(令和2年度動物愛護基金活用予算について)

・野良猫不妊手術助成金が100万円増の550万円になり、単価もオス上限6千円、メス上限1万1千円に上がった。

・多頭飼育猫不妊手術助成金は50万円増の100万円になり、オスも対象にした。また、未然防止にも積極的に活用していく方針になった。

・団体譲渡支援費は前年の実績を反映して100万円に削減した。

・防護服費用を新たに11万円計上した。

(来年度協議会のスケジュールについて)

- ・協議会は年間3回(8月頃、12月頃、3月頃)を予定している。
- ・協議会の中で議論を深める必要があるテーマが出た場合、必要に応じて作業部会を実施する。

(多頭飼育の対応について)

- ・多頭飼育対応の流れや方向性を把握しておきたい。
- ・多頭飼育現場にボランティアが入らないように気を付けてほしい。
- ・多頭飼育現場向けのボランティアの基本対応ガイドラインを作るべきでは。
- ・認定ボランティア制度を作るのはどうか。ボランティアは腕章を付けて現場に入る。もしこちらが無理であれば断る事もできる。
- ・多頭飼育に関係のある人が集まる意見交換会をしてほしい。

(施設改修について)

- ・予定としてはまず改修内容の青写真を作り、令和2年度から案を固め設計、施工に向けて順番に進めて行きたい。
- ・動物園のようなガラス張りの展示室を設置して、猫をあらゆる角度からちゃんと観察できるようにしてほしい。
- ・展示室の猫を番号で判別できるようにして、スムーズに譲渡されるようにしたい。
- ・大きな一室があると、キャットタワーを置く事が出来るし猫がのびのびと遊べる。
- ・他の自治体の参考になる事例もどんどん取り入れていきたい。実際に見学に行くのもいい。
- ・施設を改修するにあたり、資金調達の方法も考えるといいのでは。
- ・猫同士の相性や感染症の問題があるので、ただ大きな部屋に收容していけばいいという話ではない。スペースを考慮した上で設計すべき。

(寄付金関係について)

- ・確定申告に間に合うよう、寄付は駆け込みのある12月に多く来る。
- ・寄付金が集まりやすくなる方法について検討する。
- ・基金の状況を注視し、寄付の動向に留意する。

以 上